

## 2 施策の推進方策

### 基本目標Ⅰ 多様性を尊重する意識づくり

#### 施策の方向1 男女が個人として尊重される人権意識の普及・啓発

基本施策(1) 男女共同参画意識を高めるための広報・啓発を行います

基本施策(2) 性別による固定的役割分担意識の見直しを進めます

#### 施策の方向2 男女共同参画を推進する教育と学習の充実

基本施策(1) あらゆる世代が男女共同参画を学べる機会を充実します

基本施策(2) 男女共同参画に関する情報を収集・調査し発信します

#### 成果指標

■ ジェンダー<sup>※1</sup>による不平等を感じる割合（市民アンケート調査による）

R4（2022年）：52.8% ⇒ R9（2027年）：40.0%

#### ●SDGs（持続可能な開発目標）

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された成果文書「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2016年から2030年までの世界共通の国際的目標です。未来に向けて持続可能な世界を実現するための17の目標と169の具体的な行動目標から構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。この目標は、発展途上国に限らず、先進国においても取り組むべき、世界中のすべての人々に共通する普遍的なものであり、日本でも積極的に取り組んでいます。

このSDGsの5つ目の目標に「ジェンダーの平等と女性のエンパワーメント<sup>※2</sup>」が示されており、女性に対するあらゆる差別の撤廃や、暴力の排除、家事労働等に対する認識・評価などを、達成すべき必要な項目として掲げています。

この世界を次世代に繋いでいくためには、男女共同参画社会の実現が不可欠であるということが、世界共通の認識であり、共通の目標であることを意味しています。

※1 ジェンダー・・・社会的・文化的に形成された性別のこと。生物的な性別（セックス）である「男」と「女」の категорияのどちらかに人間を割振る力であり、女らしさ、男らしさなどの形で表される。時代とともに変化するものだが、高度経済成長期に培われたあり方が、現代の生活には適合しなくなっている。

※2 エンパワーメント・・・力をつけること。社会的、経済的、政治的、文化的に力を持った存在になること。自分で意思決定し、行動に移す能力を身につけ、その能力を発揮すること。

## 基本目標Ⅰ 多様性を尊重する意識づくり

### 施策の方向1 男女が個人として尊重される人権意識の普及・啓発

#### 【現状・課題】

本市では、平成31年3月に第2次男女共同参画推進計画「ウィズプラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを行ってきました。

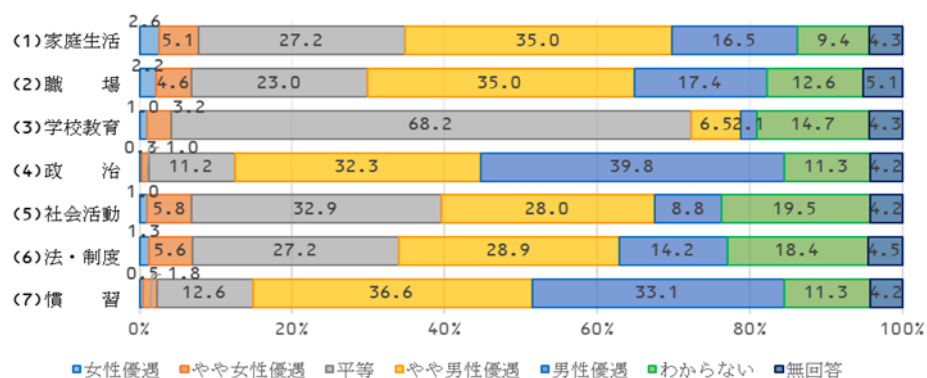
しかし、令和4年（2022年）5月に実施した「男女がともに暮らしやすいまちづくりを進めるための市民アンケート調査」（以下「市民アンケート」という。）の結果では、「学校教育の場」を除く様々な分野で男性の方が優遇されていると意識されており、特に「政治の場」や「社会通念、慣習、しきたりなど」においては、男性の方が優遇されていると意識される割合が依然として高くなっています。この結果は、5年前に実施した市民アンケートの結果と同じ傾向であり、男女の不平等感の解消には至っていない状況です。

また、性別による固定的役割分担意識に関する調査では、約6割の方が「夫は仕事、妻は家庭」といった性別で役割を決めるような考え方を否定的に捉えており、個人の資質に合わせた柔軟な考え方が広がってきていることがうかがえます。一方で、この固定的な考え方を肯定される方は約2割まで減少していますが、年代が高い層では、性別を問わず、性別による固定的役割分担意識が根強く残っている傾向にあります。

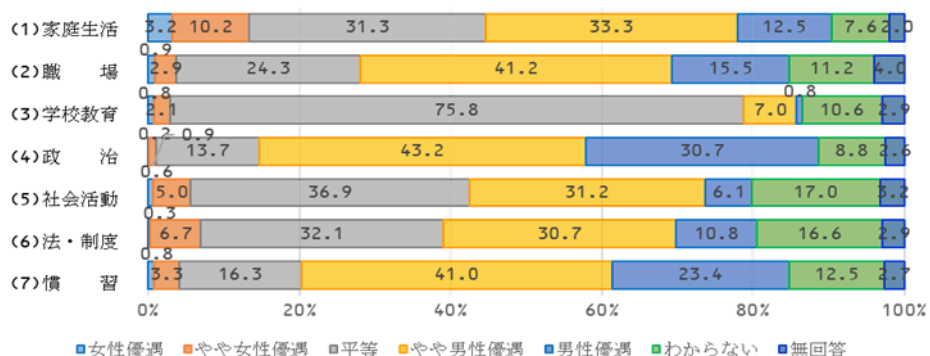
「男だから、女だから」という理由で行動や役割を制限されることなく、すべての人が能力を発揮し、自らの意思で生き方を選択できるよう、個性や多様性を認め合い、尊重しあう意識を、さらに醸成していく必要があります。

#### 《男女の不平等感》

##### 《R4結果》

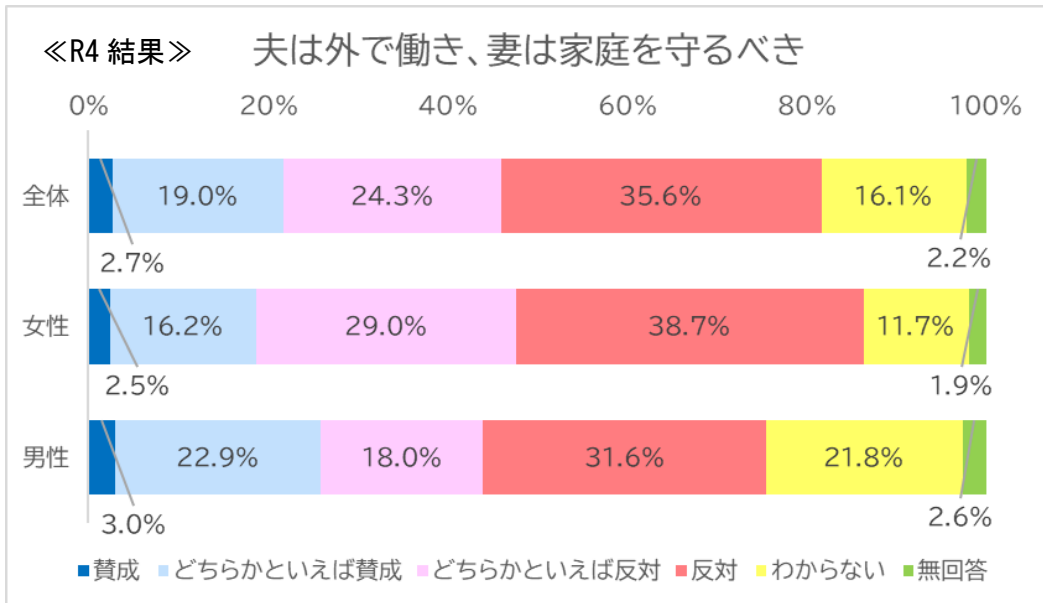


##### 《H29結果》



【R4. H29 市民アンケート】

《夫は仕事、妻は家庭といった性別による固定的な考え方》



【R4 市民アンケート】

《ウィズプラン市民ワークショップより》

●男女共同参画の推進に向けて「私ができること、取り組みたいこと」

令和5年(2023年)9月にウィズプラン市民ワークショップを2回開催しました。高校生から60代まで幅広い年代層の方が参加し、男女がともに暮らしやすいと感じられる社会にするにはどうしたらいいか、市民目線でいろいろな意見やアイデアを出し合いました。その中で出された「私ができること、取り組みたいこと」を何点か紹介します。

- 自分の概念だけでなく、少しでもたくさんの人達と出会い、意見交換し、コミュニケーションをとる。それこそが参画を推進する始まりであり、周りを巻き込む最大の近道になる。
- 自分を尊重し、相手も尊重すること。
- 本音を言える機会をつくる。
- アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込みや偏見)があることを意識して生きる。
- 家庭の中で、家事の分担について話題にしてみる。子どもに家事のやり方を教えておく。
- 「それって〇〇の役割でしょ?」ではなく、自分でできることはやる。
- これまでのやり方にこだわらず、若い人の意見を聞いたうえで改善に取り組むこと(特に職場で)。
- 一人の人間として自立した生活を送り、働く!
- 市民ワークショップなど多様な意見に触れられる場に積極的に参加する。

第1回『現状と課題を共有しよう』

- 講話「あなたらしくわたしらしく暮らせるまち」をつくる  
講話: 伊藤真知子氏
- 説明
  - ・ 男女共同参画推進計画の概要および前期計画の進捗状況について
  - ・ 市民アンケート結果の概要について
- 話し合い
  1. はじめに(グループで自己紹介等)
  2. 酒田市の男女共同参画の現状について  
課題(弱み)と強みを洗い出そう
  3. ふりかえり・まとめ  
私が思う「理想の未来」、総括・講評



第2回『これからの取り組みを考えよう』

- 説明
  - ・ 前回のふりかえり
- 話し合い
  1. はじめに(グループで自己紹介等)
  2. 酒田市の男女共同参画について  
理想の姿に近づくための具体的な取り組みを考えよう  
3つ場面ごとに(職場)  
(地域・学校)  
(家庭)
  3. ふりかえり・まとめ  
私が選ぶ「実現すべき&実現したい“具体的な取り組み”」  
総括・講評



## 基本施策(1) 男女共同参画意識を高めるための広報・啓発を行います

男女共同参画社会の実現のためには、市民一人ひとりが互いの人権を尊重し、多様性を認め合いながら暮らしていくことが大切です。

関係団体と連携して人権意識の啓発活動に取り組むとともに、様々な媒体を通じて男女共同参画社会の意義と必要性をわかりやすく広報し、人権意識、男女共同参画意識の高揚を図っていきます。

主要施策	施策の内容	主な担当課
①総合的な人権啓発活動の推進	<p>◆酒田人権啓発活動地域ネットワーク協議会※<sup>1</sup>と連携した活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体間で情報交換等を行い、連携して人権啓発活動に取り組みます</li> </ul> <p>◆福祉・国際・文化芸術政策等と連携した啓発活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020 オリパラホストタウン※<sup>2</sup>となったニュージーランドや海外の姉妹友好都市などとの交流、在住外国人等との交流を通じて多様性に関する意識の普及啓発を行います</li> <li>・酒田市文化芸術推進計画に基づく各種施策と連携し、社会包摂※<sup>3</sup>の考え方について普及啓発を行います</li> </ul>	共生社会課 学校教育課 文化政策課
②多様な媒体による広報・啓発活動の推進	<p>◆市広報や市ホームページ、情報誌等各種媒体を通じた広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画社会基本法等の関係法令の内容をわかりやすく周知します</li> <li>・情報誌やパネル展示等を通じて意識啓発に努めます</li> </ul>	共生社会課
③男女共同参画拠点施設の運営	<p>◆男女共同参画推進センター「ウィズ」の周知と機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画に関する市内の関連施設や団体との連携を強化しながら「ウィズ」の周知と機能強化を図ります</li> </ul>	共生社会課

### ●酒田市男女共同参画推進センター「ウィズ」

酒田市には、男女共同参画を推進するための拠点施設「ウィズ」があります。平成12年(2000年)に開設し、学習・交流・相談の3つの機能を持つ施設として、市民・団体等と共に男女共同参画の推進のための活動を行っています。

**【学習】**・男女共同参画に関する様々な学びの場となる講座を開催

- ・男女共同参画に関連する書籍や他市町村の情報誌などをウィズ図書で貸出

**【交流】**・様々な団体がウィズに登録し男女共同参画に関する活動を実践

- ・ボランティアで登録するウィズサポーターが定期的に情報交換を行いながら活動

**【相談】**・悩みを抱える方の最初の相談窓口として男女共同参画推進員が対応

- ・DV被害者等からの相談に関係機関等と連携して対応(必要に応じて一時避難)

※1 酒田人権啓発活動地域ネットワーク協議会・・・酒田人権擁護委員協議会、山形地方務局酒田支局、遊佐町、庄内町、酒田市を構成員とする協議会。人権フォーラムの開催など、人権に関する啓発活動に協働して取り組んでいる。

※2 2020 オリパラホストタウン・・・酒田市は、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいてニュージーランドのホストタウンとして登録された。ニュージーランド・トライアスロンチームのサポートを行っただけでなく、2020年以降も様々な交流を通じて、スポーツ振興、教育文化の向上、共生社会の実現を図ることを目的としている。(ニュージーランドは、1893年に世界で初めて女性が参政権を獲得した国であり、男女共同参画の分野で世界を牽引してきた国でもある。)

※3 社会包摂・・・社会的包摂ともいう。社会的排除の反対の概念。社会的に孤立や困難を抱えている人々に対して社会参加の機会を開き、社会的課題の緩和や解決に取り組む継続的な活動のこと。

## 基本施策(2) 性別による固定的役割分担意識の見直しを進めます

男女共同参画社会の進展を阻害する一つの大きな要因として、人権や個性より、慣習やしきたりなどにとらわれた「性別による固定的役割分担意識」があります。

このような考え方を改め、各々が家庭、職場、地域、学校などあらゆる領域において改善的な行動をとるためのきっかけづくりとして、内在するアンコンシャス・バイアス（次のページ参照）への気づきを促進するとともに、市広報や各種刊行物等において、男女共同参画の視点に配慮した表現を行います。

また、性別にかかわらず人権を尊重する観点に立ち、性的マイノリティ（性的少数者）の方々が暮らしにくいと感じる環境を改善していくための取組みも進めていきます。

主要施策	◆施策の内容	主な担当課
①アンコンシャス・バイアスの解消	<p>◆アンコンシャス・バイアスへの気づきの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座等により、潜在する偏見意識への市民の気づきを促します</li> <li>・市職員への研修やチェックリストの活用等により、市の施策において固定的役割分担意識が働いていないか確認します</li> </ul> <p>◆性別にとらわれない表現の普及と生活環境の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報や各種刊行物において固定的役割分担意識を助長することのない表現を行います</li> <li>・男子トイレへのベビーチェアの設置等、性別にとらわれることのない生活環境の整備を促進します</li> </ul>	共生社会課 市長公室 人事課 各課
②性的マイノリティ※等への配慮	<p>◆性的マイノリティの方々が暮らしにくい環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナーシップ宣誓制度の周知及び理解促進を図ります</li> <li>・性の多様性（LGBTQ+、SOGIE）に関する理解促進講座を開催します</li> <li>・多目的トイレの設置等、生活環境に配慮します</li> <li>・学校教育において、性の多様性等により困難を抱える児童生徒に配慮した対応を行います</li> <li>・申請書等の各種様式における性別記載欄等への配慮を行います</li> </ul>	共生社会課 学校教育課 各課

### ●性別による固定的役割分担意識とは・・・

個人の意思や能力に関係なく、性別により役割を固定的に決め付けてしまう考え方です。  
 例えば・・・

- ・女性は仕事より家庭を大事にしない。
- ・会長は男性、副会長は女性からやってもらうことになってるから。
- ・お隣の旦那さん、毎日洗濯物を干して偉いね（かわいそう）。

本来、すべて男女どちらがやってもいいはずなのですが、女性はこうすべき、男性はこうすべきと決め付けてしまっていないですか？

「男性も家事を手伝おう」という表現にも、違和感がありませんか？本当は女性の役割なんだけど・・・という意識を背景に感じます。男女共同参画の視点を持った表現なら、「男性も家事をしよう」になりますよね。

※ 性的マイノリティ・・・性的少数者を総称することば。セクシュアル・マイノリティともいう。性的指向が異性愛でない人々や性自認が誕生時に付与された性別と異なる人々（LGBT：レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）、性同一性障害の人などが含まれる。



## 性別役割意識<シーン別>

(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計)

□ 男女両方で上位10位に入っている項目

### <<家庭・コミュニティ>>

男性 上位5項目	(%)
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	48.7
デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	34.0
男性は結婚して家庭をもって一人前だ	30.4
女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	28.6
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	28.4

### <<職場>>

男性 上位5項目	(%)
育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.8
組織のリーダーは男性の方が向いている	26.1
受付、接客・応対(お茶だしなど)は女性の仕事だ	24.1
大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	23.1
仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる	22.9

女性 上位5項目	(%)
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	44.9
女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	27.2
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	21.6
デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	21.5
家事・育児は女性がするべきだ	20.7

女性 上位5項目	(%)
育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.2
組織のリーダーは男性の方が向いている	20.9
大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	20.9
受付、接客・応対(お茶だしなど)は女性の仕事だ	18.3
仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる	16.4

【出典：内閣府男女共同参画局 令和4年度性別による無意識の思い込み】

## ●アンコンシャス・バイアス

人が経験則によって気付かないうちに持つようになった無意識の思い込みや偏った考え方をアンコンシャス・バイアスと言います。例えば「子育て中の女性は仕事の負担を軽くしてあげた方がいい」という考え方は、思いやりや配慮とも言えますが、受け手側にとっては「助かる」と感じる人もいれば「今までどおり働きたい」と考える人もいます。アンコンシャス・バイアスはそれ自体に良し悪しはありませんが、そう決めつけることが周りの人の生き方に影響を及ぼしてしまう場合があります。大切なことは私たちの中にあるアンコンシャス・バイアスに気づくこと。多様な考え方があるということを意識してみませんか。

**性的マイノリティ** 性的少数者(LGBTなど)の総称。

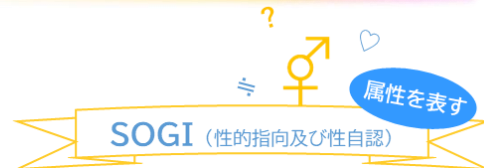
性的指向が異性愛でない人々や、性自認が身体の性別と異なる人々を表します。

なお、性の3要素(身体の性別、性的指向、性自認)の組み合わせが多様であるだけでなく、

各要素において濃淡や強弱があることを指して「性のグラデーション」と表現されることがあります。

~性はグラデーション~

性の多様性  
基礎知識



**L: Lesbian** レズビアン(女性の同性愛者)

**G: Gay** ゲイ(男性の同性愛者)

**B: Bisexual** バイセクシャル(両性愛者)

**T: Transgender** トランスジェンダー  
(身体の性別と自己の認識する性が一致しない人)

**Q: Questioning** クエスチョニング  
(自分の性のあり方について、わからない、または決めたくない人)

**SO: Sexual Orientation** 性的指向  
(性的魅力をどのような相手に対して感じるか／感じないか)

**GI: Gender Identity** 性自認  
(自己の認識する性、自分の性別をどう認識しているか)

## ●「アウティング」は厳禁！

誰かの性的指向や性自認を本人の了解を得ずに第三者に暴露することをアウティングといい、絶対にあってはならないことです。性的指向や性自認などのセクシュアリティ(人間の性のあり方)は繊細な個人情報であり、アウティングは重大な人権侵害です。

## 施策の方向2 男女共同参画を推進する教育と学習の充実

### 【現状・課題】

男女共同参画意識の浸透のためには、学校、家庭、地域など、様々な場面における教育や学習が重要な役割を担っており、相互の連携を図りながら積極的に行われる必要があります。

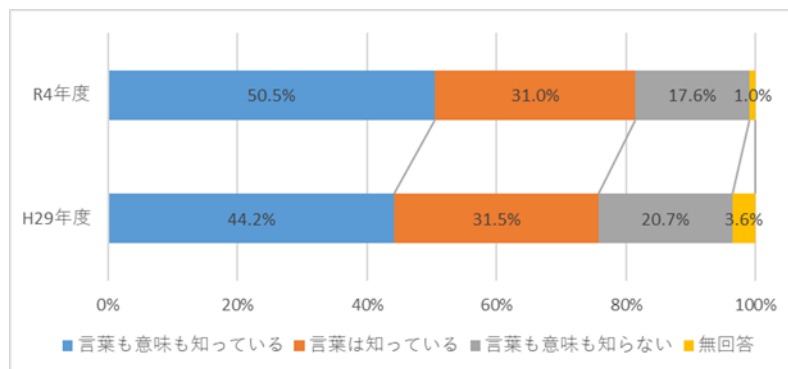
市民アンケートにおいて、「学校教育の場」はほぼ男女の地位が平等と意識されていますが、それ以外の「家庭」や「社会」などの場では、男性が優遇されていると感じている割合が高くなっています。

社会の動向に順応できる学校教育環境を保っていくとともに、男女共同参画推進センター「ウィズ」や生涯学習施設などを拠点として、家庭、職場、地域など様々な生活の場面において、男女共同参画に関する意識づくりが促進されるよう、学習機会の充実に努めていくことが重要です。

また、世界経済フォーラム※<sup>1</sup>による男女格差を表すジェンダーギャップ指数※<sup>2</sup>で、日本は146か国中125位（2023年）となっており、特に政治と経済の分野において男女格差が大きい国とされています。

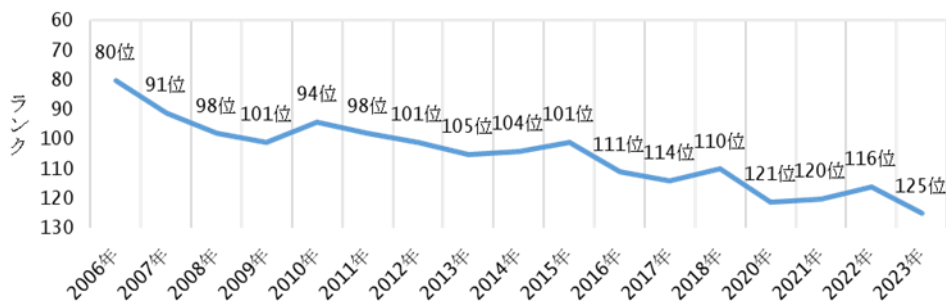
世界の国々との比較や、各国の先進的な取組み、その取組みを行うに至るまでの経緯などを知ることも、男女共同参画を推進していく上では非常に有意義なことです。

#### 《男女共同参画の認知度》



【R4. H29 市民アンケート】

#### 《ジェンダーギャップ指数（GGI）日本のランキング推移》



【世界経済フォーラム発表】

※1 世界経済フォーラム・・・1971年にスイスの経済学者クラウス・シュワブにより設立された、世界情勢の改善に取り組む、独立した国際機関。毎年、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index：GGI）を発表している。  
 ※2 ジェンダーギャップ指数・・・各国における男女格差を測る国際的指数。経済、教育、政治、保健の4分野から作成される。

## 基本施策(1) あらゆる世代が男女共同参画を学べる機会を充実します

学校教育の場では、男女が平等の立場にあると認識されている割合が高くなっています。課外活動等も含め、男女平等、多様性や個性を尊重する教育を進めている現在の学校教育環境を維持しながら、社会動向に合わせた柔軟な教育環境の充実を図ります。

人々の生活の基礎となる家庭生活の場では、男性が優遇されていると認識される割合が高くなっています。家族の誰かに家事・育児・介護等のケア労働の負担が偏ることなく、互いに尊重し合いながら責任も分かち合う、男女共同参画意識が育まれる家庭教育を促進します。

また、個人の資質より、慣習やしきたりを優先する社会では、学校教育や家庭教育で育まれた男女共同参画意識が徐々に薄れてしまいます。社会に出てからも男女共同参画について学ぶことができる場を充実させるとともに、男女共同参画を推進していくための学習活動を支援する人材の育成に努めます。

主要施策	施策の内容	主な担当課
①男女共同参画を推進する学校教育活動の推進	<b>◆あらゆる場面における男女平等教育の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女が対等の立場で協働する学級活動等を推進します</li> <li>性別によらずに自由に将来を選択できるキャリア教育※<sup>1</sup>を推進します</li> <li>ジェンダー平等、性の多様性(LGBTQ+、SOGIE)などを理解する機会を推進します</li> </ul>	学校教育課
②男女共同参画意識を育む家庭教育の促進	<b>◆男女共同参画を意識した家庭教育講座の開催</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画意識を育む家庭教育がなされるよう関連講座を開催します</li> <li>性別によらずに自由に将来を選択できるキャリア教育が家庭でも推進されるよう関連講座を開催します</li> </ul> <b>◆広報等での関連情報の発信</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での男女共同参画を推進するうえで参考となるような事例情報を市広報やホームページ等で発信します</li> </ul>	共生社会課 社会教育課
③男女共同参画を学習する機会の充実	<b>◆男女共同参画推進センターにおける講座開催</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画に関するウィズ講座を開催します</li> </ul> <b>◆地域での講座や研修会等の開催促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会やコミュニティ振興会等で開催される男女共同参画関連講座に講師を派遣します</li> </ul> <b>◆企業や団体等との連携による学習機会の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業等と連携した講座等を開催します</li> <li>自分らしくを応援するポータルサイト※<sup>2</sup>等において、地域で行われる講座等の情報を発信します</li> </ul>	共生社会課 商工港湾課 社会教育課
④指導的立場を担う人材の育成	<b>◆指導的立場を担う人材のスキルアップ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>チェリア塾※<sup>3</sup>等の人材育成プログラムへの参加を促進します</li> </ul> <b>◆男女共同参画関連活動を行う団体の支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウィズ登録団体の自主講座等の開催を支援します</li> </ul>	共生社会課 まちづくり推進課 社会教育課

※1 キャリア教育・・・一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てること。自身の進路を自分で決める主体性の育成や、社会に出た際に自立するための能力開発なども含まれる。

※2 自分らしくを応援するポータルサイト・・・働く女性、働きたい女性向けの情報や、働く女性を応援したい事業主向けの情報などを集約した、職業生活で活躍する、活躍したい女性を応援する、市が開設したウェブサイト。

※3 チェリア塾・・・山形県男女共同参画センター「チェリア」が実施する、女性の人材育成プログラム。



## 基本施策(2) 男女共同参画に関する情報を収集・調査し発信します

男女共同参画を推進していく上で、他の地域で行われている取組みや考え方を知ることは、大変有意義なことです。

男女共同参画推進センター「ウィズ」を拠点として、各活動団体等と連携し、男女共同参画に関する先駆的な取組事例や世界の動向等を調査し、市民に発信していきます。

また、定期的に市民の意識調査を実施し、本市の男女共同参画意識の状況を把握しながら、必要な取組み等について調査・実践していきます。

主要施策	施策の内容	主な担当課
①男女共同参画推進センター「ウィズ」の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆拠点施設への専門職員の配置                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進員を配置し、男女共同参画推進センター「ウィズ」を運営します</li> </ul> </li> <li>◆関連情報の収集・発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村や各団体が発行する情報誌を収集しウィズ図書に配置します</li> <li>・男女共同参画の情報を掲載するウィズレターを作成発行します</li> </ul> </li> <li>◆団体・グループ活動の支援と連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィズの各種事業をウィズサポーターと協働して推進します</li> <li>・男女共同参画推進センターに登録する団体等の活動を支援するとともに、団体との協働により男女共同参画の推進を図ります</li> </ul> </li> </ul>	共生社会課
②市民意識調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆男女共同参画意識に関する市民アンケート調査の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケート調査を実施し、市民の男女共同参画意識の状況を把握します</li> </ul> </li> <li>◆講座等の開催に関する市民ニーズ調査の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座等の開催の都度、アンケート調査により市民ニーズを把握します</li> </ul> </li> </ul>	共生社会課

### ●楽しくやっています！ウィズサポーター

男女共同参画社会について一緒に考え、行動してくれるボランティアさんが、ウィズサポーターとして活動しています。年に数回集まって、「こんな講座をやったら市民の皆さんに伝わりやすいかも！」「酒田にはこんな人がいるから、今度講師をしてもらおうよ！」と、ウィズ講座の企画などを行っています。

他にも、「今度こんなイベントがあるみたいだから一緒に見に行こう！」といった感じで、各所で開催される男女共同参画関連のイベントに参加して、知見を深めたりしています。

ウィズサポーターになるための資格や専門性などの条件は一切ありません。今の社会になんとなく違和感がある、男女共同参画の活動に興味がある、いろいろな人の考え方を聞いてみたい！というような方は、ぜひウィズサポーターとして一緒に学び合いましょう。



ウィズサポーターとして  
一緒に活動しませんか？

ウィズサポーターTシャツ